

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和3年 6月 3日

前橋市長 殿

提出者 〒371-0031

住 所 群馬県前橋市下小出町1-1-12

氏 名 小野里工業株式会社

代表取締役 小野里 拓也

電話番号 027-231-4211

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 令和 2年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	小野里工業株式会社 本社
事 業 場 の 所 在 地	群馬県前橋市下小出町1-1-12 (前橋市内各現場)
事 業 の 種 類	建設業(D06総合工事業)
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 3年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

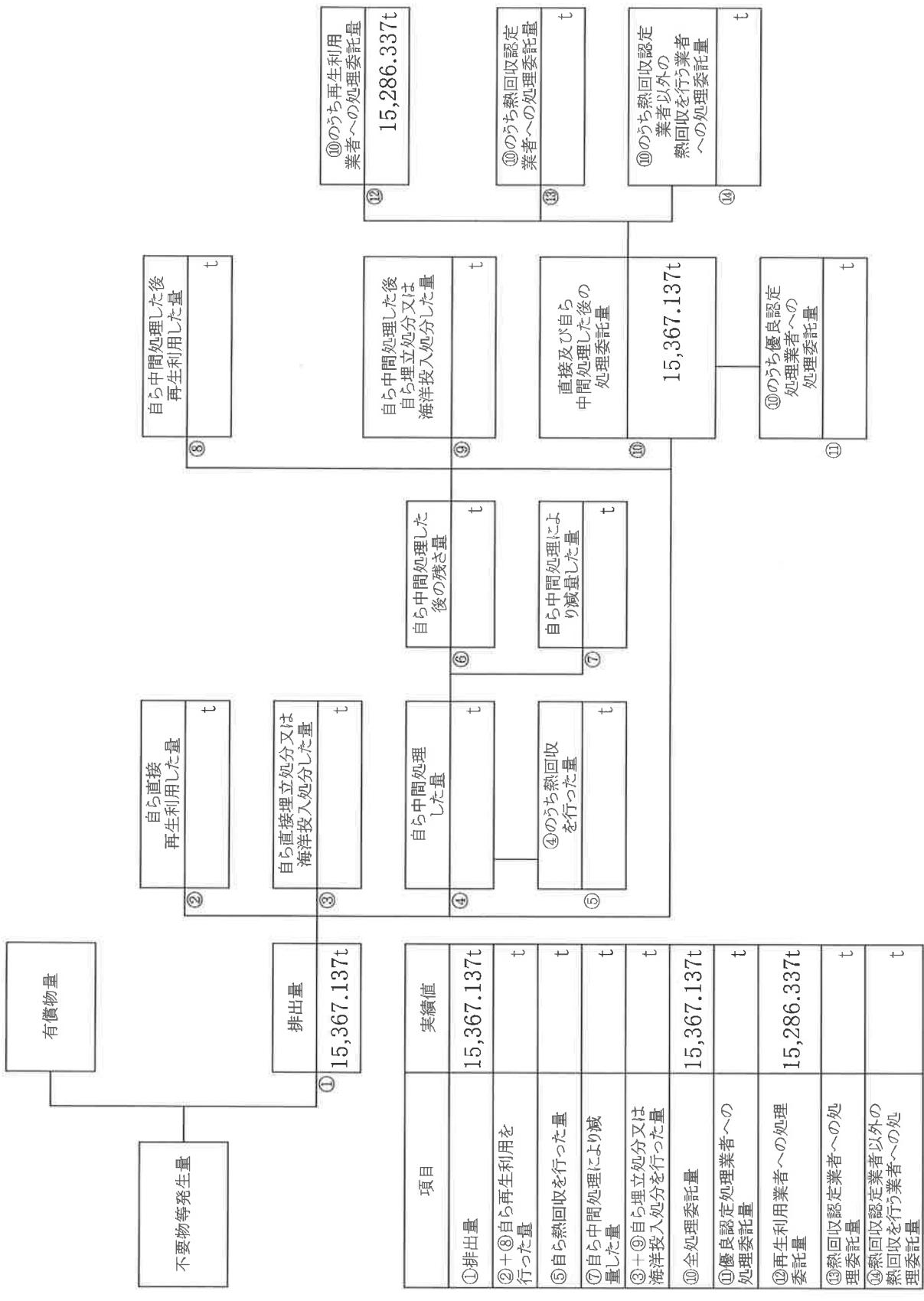
項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	4,900.000t	全 処 理 委 託 量	4,900.000t
自 ら 再 生 利 用 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	優 良 認 定 処 理 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 热 回 収 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	再 生 利 用 業 者 へ の 処 理 委 託 量	4,810.000t
自 ら 中 間 处 理 に よ り 減 量 す る 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
自 ら 埋 立 处 分 又 は 海 洋 投 入 处 分 を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	認 定 热 回 収 業 者 以 外 の 热 回 収 を 行 う 業 者 へ の 処 理 委 託 量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)



計画の実施状況

各ゴミの総合計



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類)



項目	実績値	
①排出量	15,038.655t	t
②+③自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑪全処理委託量	15,038.655t	t
⑫優良認定処理業者への処理委託量		t
⑬再生利用業者への処理委託量	15,038.655t	t
⑭熱回収認定業者への処理委託量		t
⑮熱回収を行った業者への処理委託量		t

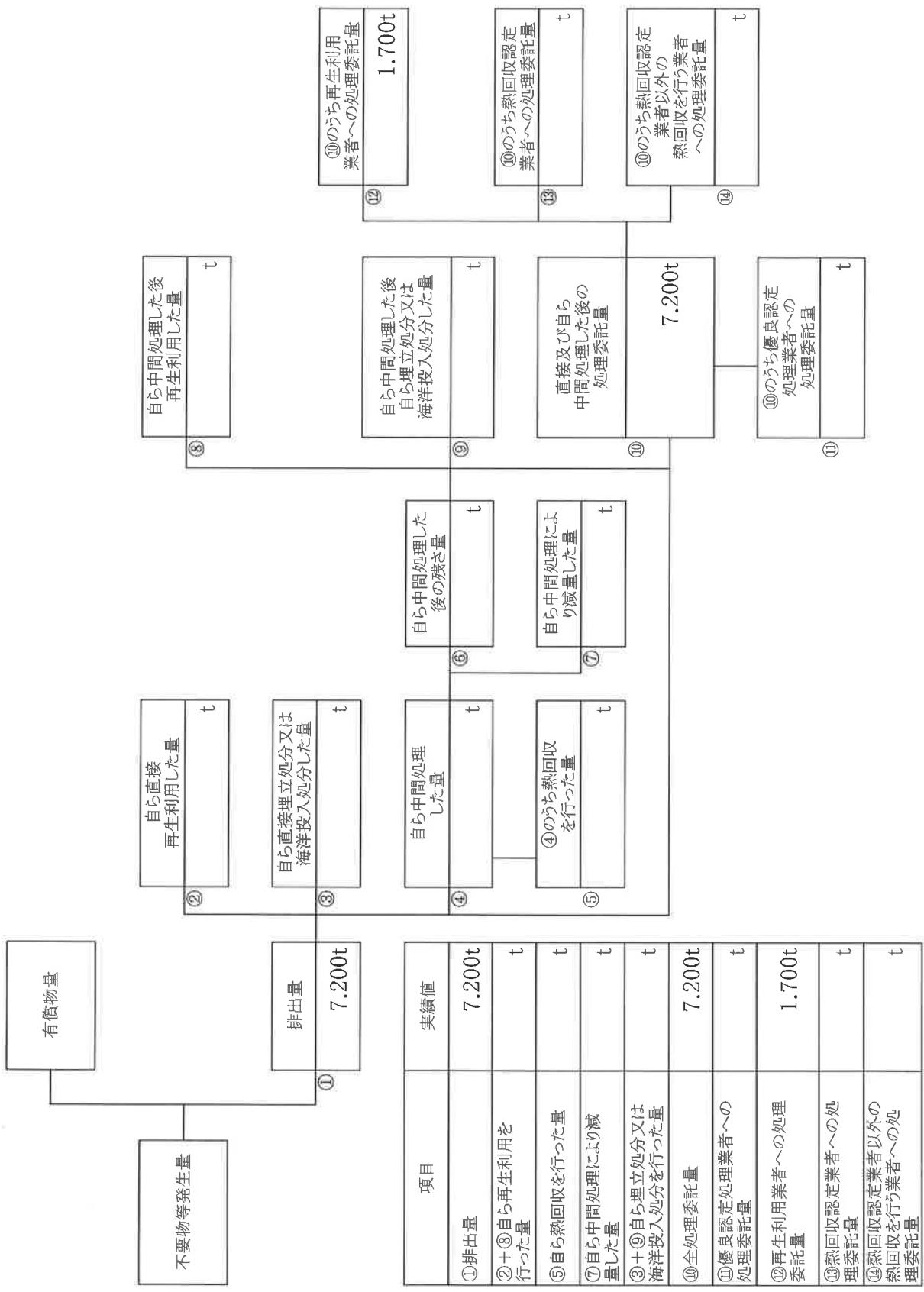


⑧	自ら中間処理した後再生利用した量	t
⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	15,038.655t
⑯	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	t
⑯	⑫のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行った業者への処理委託量	t
⑯	⑯のうち優良認定処理業者への処理委託量	t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)



不要物等発生量

②再生利用した量
t

①排出量
33.501t

③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
t

④自ら直接処理した量
t

⑧自ら中間処理した後再生利用した量
t

項目 実績値
①排出量 33.501t
②+⑧自ら再生利用を行った量
t
⑤自ら熱回収を行った量
t
⑦自ら中間処理により減量した量
t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
t
⑩全処理委託量 33.501t
⑪優良認定処理業者への処理委託量
t
⑫再生利用業者への処理委託量 33.501t
⑬熱回収認定業者への処理委託量
t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行つ業者への処理委託量
t

⑫⑩のうち再生利用業者への処理委託量
33.501t

⑥自ら中間処理した後の残さ量
t
⑨自ら中間処理により減量した量
t
⑩直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
33.501t

④⑤⑥⑦⑨のうち熱回収を行つた量
t
⑪⑫⑬⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量
t

⑫⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
33.501t

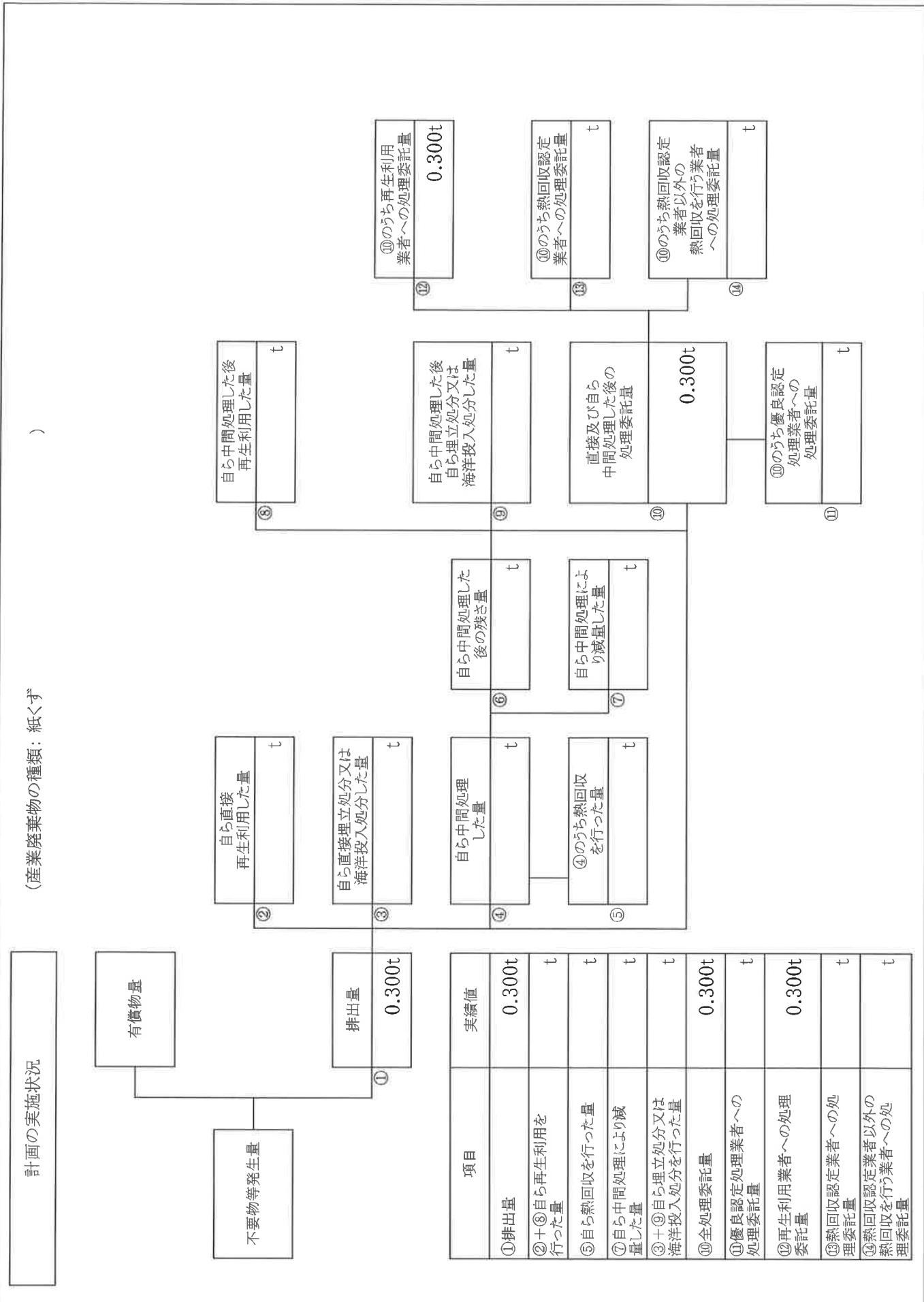
⑪⑫⑬⑭のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行つ業者への処理委託量
t

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)

1

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量

自ら中間処理した後
再生利用した量

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

自ら中間処理した後
埋立処分又は
海洋投入処分した量

排出量
① 209.602t

自ら中間処理
した量
④ 209.602t

自ら中間処理
した量
③ 209.602t

自ら直接
再生利用した量
② 209.602t

項目	実績値	
①排出量	209.602t	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	209.602t	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量	209.602t	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 繊維くず[※])



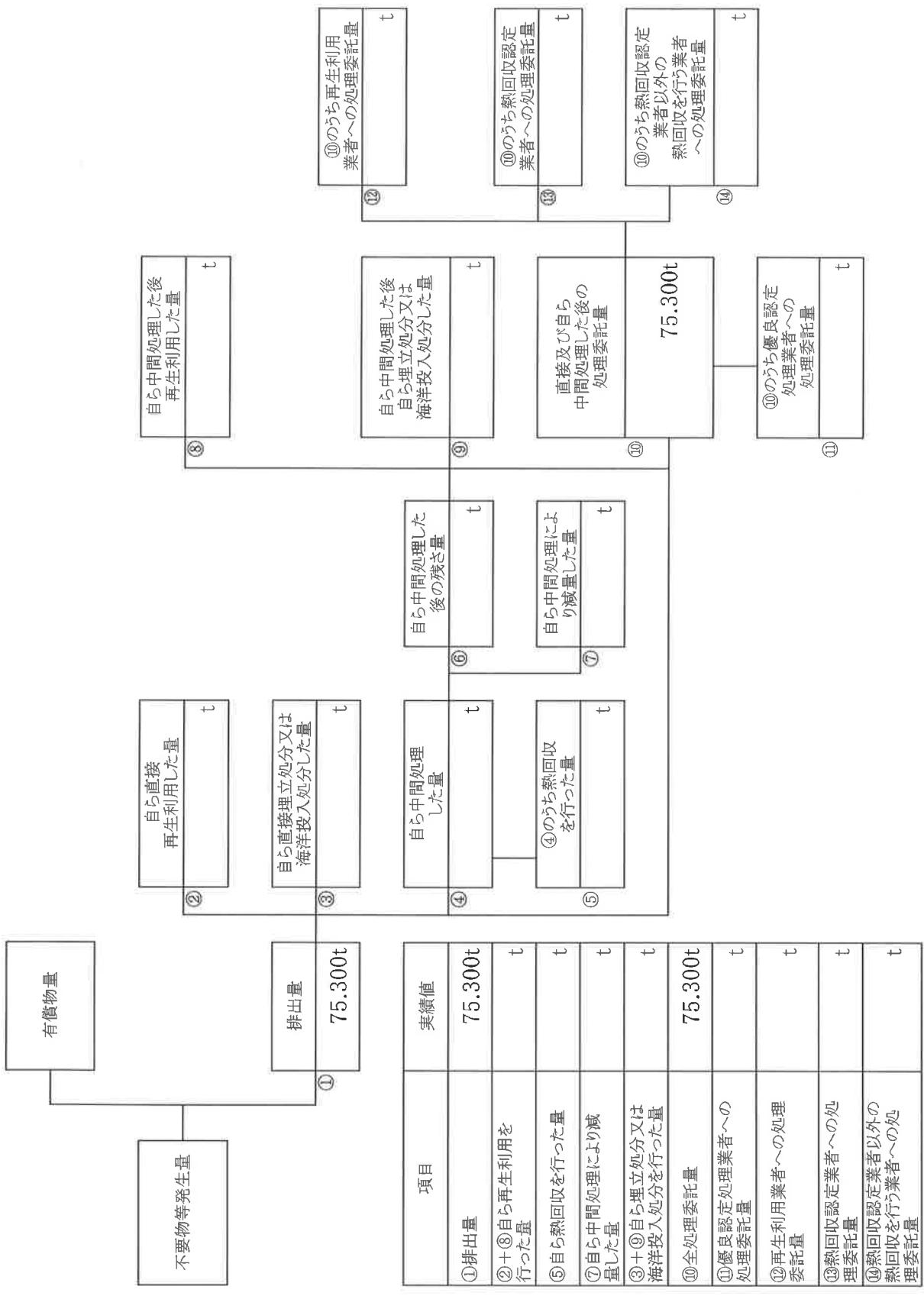
①排出量	0.319t	項目	実績値
②+③自ら再生利用を行った量	t	④自ら中間処理した量	0.319t
⑤自ら熱回収を行った量	t	⑥自ら中間処理した後の残さ量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t	⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	t
⑩全処理委託量	0.319t	⑨直接及び自ら中間処理した後の残さ量	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t	⑩直接及び自ら中間処理した後の残さ量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.319t	⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t	⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

①排出量	0.319t	項目	実績値
②自ら直接再生利用した量	t	④自ら中間処理した量	0.319t
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	t	⑥自ら中間処理した後の残さ量	t
⑤自ら中間処理により減量した量	t	⑦自ら中間処理により減量した量	t
⑨直接及び自ら中間処理した後の残さ量	t	⑩直接及び自ら中間処理した後の残さ量	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t	⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t	⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

(第2面)

計画の実施状況

(産業)廃棄物の種類：混合廃棄物

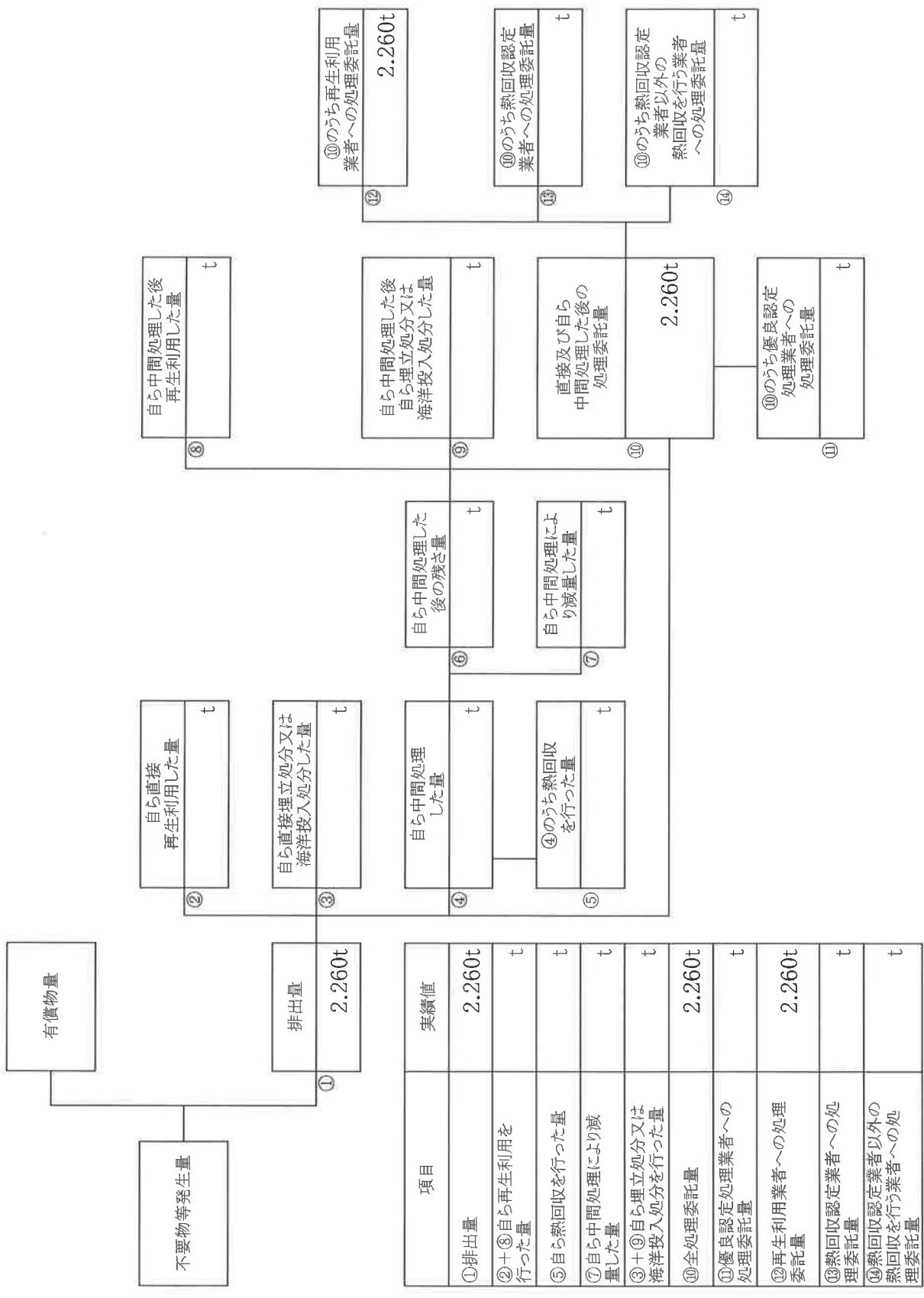


(第2面)

1

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令 第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄には、何も記入しないこと。